

令和3年度 議会事業取組評価（政策部会所掌分）

政策部会取組事項
<p>1 議会運営におけるICTの活用について</p> <p>(1) 次期会議システム等の調達について</p> <p>(2) オンライン会議の実施について</p> <p>(3) 正副レクのオンライン実施について</p> <p>2 議員研修の企画及び運営について</p> <p>(1) 前期議員研修会</p> <p>(2) 後期議員研修会</p> <p>3 一般質問のあり方について</p> <p>4 予算審査のあり方について</p>

1 議会運営におけるICTの活用について（前年度継続事業）	
(1) 次期会議システム等の調達について	
実施の概要・成果	課題・今後の取組み
<p>ア 調達内容の検討</p> <p>(ア) 令和2年度政策部会集約事項（①松本市議会で統一した機種を公費調達すること。②端末はタブレット端末で現行機と同等以上とすること。③会議システムはSideBooksを継続すること。）を前提に検討を開始</p> <p>(イ) 端末については、iPad Pro12.9インチ及びiPad Air10.9インチの実機デモを通じて会派ごとに検討。iPad Pro12.9インチ（現行機）とする旨を集約</p> <p>(ウ) グループウェアについては、操作習熟、公用メールアドレスの継続使用等の利点を踏まえ、Googleのグループウェアとする旨を集約</p> <p>(エ) 契約通信量については、実績を踏まえ、1台当たり5GB/月から3GB/月に変更する旨を集約</p> <p>(オ) 以上を踏まえ、次期調達内容の基本方針について議会運営委員会（3.10.22）に協議し、了承</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ タブレット端末、会議システム及びグループウェアが、議会運営上、必須の「仕事道具」になりつつあることを踏まえ、次期会議システム等へのスムーズかつ確実な移行を図る。 ・ タブレット端末導入時（令和元年度）に比べ、松本市議会におけるICT活用が進展していることを踏まえ、定期的な操作研修等により、さらなる習熟を図る。

<p>イ タブレット端末等の運用に係る検証 運用に係る課題を整理した上で、松本市議会タブレット端末等運用規程等改正に係るの方向性を集約</p> <p>(ア) アプリ、附属品等への政務活動費充当 (イ) クラウド内データ取扱方法の明文化 (ウ) その他現状に合わせた変更</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ タブレット端末等の更新時期（4. 8. 1）を目途に松本市議会タブレット端末等運用規程等の改正を目指す。
<p>(2) オンライン会議の実施について</p>	
<p>実施の概要・成果</p>	<p>課題・今後の取組み</p>
<p>ア オンライン会議の模擬実施 非常時に備えた訓練のため、政策部会主催で2回実施</p> <p>(ア) 議会運営委員会（3. 4. 27） (イ) 総務委員協議会（3. 11. 25）</p> <p>イ 2回のオンライン会議模擬実施の結果を踏まえ、課題を整理</p> <p>ウ オンライン会議実施に当たりルール化すべき事項を整理し、松本市議会オンライン会議運営要綱として取りまとめ（議会運営委員会（4. 4. 18）に協議）</p> <p>エ ICTを活用した非常時における議会機能維持をさらに推進する観点から、全国市議会議長会の検討結果を踏まえ、委員会条例等を令和4年2月定例会において改正（オンライン委員会にオンラインで出席できる者を拡大）</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 危機管理上の観点から、引き続きオンライン会議の模擬実施を行い、非常時対応能力の向上を図る。 ・ オンライン会議システムについて、定期的な操作研修等により、さらなる習熟を図る。
<p>(3) 正副レクのオンライン実施について</p>	
<p>実施の概要・成果</p>	<p>課題・今後の取組み</p>
<p>ア 令和2年度政策部会集約事項（①委員会等と同様に非常時に限定すること。②まずは議会内で完結する部会の正副レクに試験的に導入すること。③その上で課題等を整理して導入の検討を行うこと。）を前提に検討を開始</p> <p>イ 令和3年7月～9月の間、議会内で完結する部会及び議会運営委員会の正副レクを試験的にオンラインで実施するとともに、実施後に正副及び書記に対するアンケートを実施</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 理事者が実施する常任委員協議会等の正副レクを訓練としてオンラインで実施し、非常時対応能力の向上を図る。

<p>ウ アンケート結果等を踏まえ、正副レクのオンライン実施に係る課題を整理し、実施要領案を取りまとめ、理事者との調整を経て、議会運営委員会（４．３．３）に協議し、了承</p>	
--	--

2 議員研修の企画及び運営等（前年度継続事業）	
実施の概要・成果	課題・今後の取組み
<p>議員の政策形成、立案能力の向上等を図るため、前期・後期の２回開催</p> <p>(1) 前期議員研修会</p> <p>ア 日時 令和３年８月１９日(木) 午前１０時～正午</p> <p>イ 講師 選択的夫婦別姓・陳情アクション信州</p> <p>ウ 演題 「選択的夫婦別姓について」</p> <p>エ 成果 選択的夫婦別姓に係る国内における議論の状況について認識を深めることができた。</p> <p>(2) 後期議員研修会</p> <p>ア 日時 令和３年１１月２４日(水) 午前１０時～正午</p> <p>イ 講師 信州大学教授 佐藤 友則 氏</p> <p>ウ 演題 「日本・松本の現状と外国由来の人との多文化共生による未来」</p> <p>エ 成果 外国由来の方々をめぐる我が国及び本市の現状について認識を深めることができた。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 令和４年度の開催回数、時期、手法及び内容について検討

3 一般質問のあり方について（前年度継続事業）	
実施の概要・成果	課題・今後の取組み
<p>(1) 令和２年度政策部会における検討結果を踏まえ、検討する論点を３論点に整理</p> <p>ア 代表質問制と個人質問制の関係</p> <p>イ 質問時間の長さ及び通年計算の採用</p> <p>ウ 質問方式（一括、一問一答等）</p> <p>(2) 中核市議会の状況調査・分析</p> <p>(3) 中核市議会の調査結果を踏まえ、上記３論点について各会派で検討</p>	<ul style="list-style-type: none"> 無所属議員に係る通年計算については、議会運営上の影響等の課題を踏まえた上で、検討を継続する。

<p>(4) 各会派での検討結果、松本市議会における一般質問検討経過、シミュレーションによる議会運営上の影響調査等を踏まえ、上記3論点については次のとおり集約</p> <p>ア 代表質問制と個人質問制の関係 → 現状のとおりとし、検討を終了</p> <p>イ 質問時間の長さ及び通年計算の採用</p> <p> a 質問時間の長さ → 現状のとおりとし、検討を終了</p> <p> b 通年計算の採用 → 無所属議員に係る通年計算について、検討を継続</p> <p>ウ 質問方式（一括、一問一答等） → 現状のとおりとし、検討を終了</p>	
---	--

4 予算審査のあり方について（本年度新規事業）	
実施の概要・成果	課題・今後の取組み
<p>(1) 令和3年2月定例会において、56年ぶりに予算特別委員会を設置し、当初予算を一括付託により審査したことを踏まえ、令和3年2月定例会の当初予算審査における課題を整理し、今後の予算審査方法の方向性を検討したもの</p> <p>(2) 各会派で、令和3年2月定例会での当初予算審査を評価・検討</p> <p>(3) 各会派の評価・検討結果を踏まえ、検討すべき論点を1つの前提論点と5つの個別論点に整理</p> <p> 【前提論点】 予算の一括付託と分割付託の是非</p> <p> 【個別論点1】 予算委員会の定数及び分科会設置</p> <p> 【個別論点2】 当初予算説明会の取扱い</p> <p> 【個別論点3】 予算審査の日程</p> <p> 【個別論点4】 総括質疑の取扱い</p> <p> 【個別論点5】 一括付託する予算の範囲</p> <p>(4) 予算審査に係る中核市議会及び県内19市議会の状況を調査し、当該調査結果を踏まえ、各論点を各会派で検討の上、政策部会において次のとおり集約</p> <p> 【前提論点】 予算の一括付託と分割付託の是非 → 予算委員会に一括付託</p>	<p>・ 令和3年度集約結果は、中核市議会及び県内19市議会の状況調査並びに各会派での検討を経た半年以上にわたる検討の結果であることから、政策部会における検討は令和3年度でひと区切りとするもの。今後の見直しについては、必要に応じて議会運営委員会において検討されたい。</p>

- | | |
|---|--|
| <p>【個別論点1】 予算委員会の定数及び分科会設置
→ 定数を全議員とし、分科会を設置</p> <p>【個別論点2】 当初予算説明会の取扱い
→ 委員会付託前に当初予算説明会を実施</p> <p>【個別論点3】 予算審査の日程
→ 日程を追加できるよう調整</p> <p>【個別論点4】 総括質疑の取扱い
→ 令和3年2月定例会と同様の取扱い</p> <p>【個別論点5】 一括付託する予算の範囲
→ 当初予算に限定。予算委員会は特別委員会として設置</p> <p>(5) 集約結果を議会運営委員会(3.12.15)に協議し、了承。令和4年度当初予算審査に反映</p> | |
|---|--|

(評価責任者) 政策部会長 近藤 晴彦